おぢや
会議所だより

448号
2014. 4

〈発行所〉小千谷商工会議所
小千谷市本町2−1−5
TEL(81)1300　FAX(83)3632
URL http://www.ojiyacci.org
E-mail mail@ojiyacci.org

平成25年度臨時議員総会を開催

去る3月19日（水）、当所3階大ホールにおいて平成25年度臨時議員総会が開催され、平成25年度一般会計及び7特別会計の収支補正予算（案）、平成26年度の運営方針と事業計画並びに一般会計及び7特別会計収支予算（案）がそれぞれ審議され、いずれも原案通りに可決承認されました。

（平成26年度の運営方針・事業計画・収支予算の概要は2〜3Pに掲載）

小千谷経済懇談会を開催

3月26日（水）、小千谷市の主催により、小千谷経済懇談会が当所3階大ホールにて開催されました。

冒頭、大塚副市長より平成26年度の小千谷市の予算について、総額334億円で、前年対比0.2%増となったことの概要説明がありました。その後、当所八部会の部会長、小千谷鉄工電子協同組合の丸山理事長から現状や課題の報告と意見交換が行われました。

また、市商工観光課 佐藤課長より、平成26年度の商工業関係振興施策として、国・県の新規補助事業や平成24年度に新設された商店街連携促進事業、小口零細企業信用保証料補助事業などの説明がありました。懇談の中で、市の基幹産業である鉄工電子協同組合の理事長から補助金の活用だけではなく、後継者等の人材育成にも力を入れていきたいとの発言がありました。

会費口座振替のお知らせ

当所の上期会費の口座振替を4月30日㈬に行わせていただきます。また、現金でのお支払いにつきましても、お手数ですが、4月30日㈬までに当所へお持ち下さいますようお願い申し上げます。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます 。

平成26年度　運営方針・事業計画

重点事業

1．中小・小規模企業の経営基盤の強化の支援
2．小規模事業経営改善普及事業の充実強化
3．地場産業の振興の推進
4．地域活性化への活動の取組
5．商工会議所の組織・財政基盤の強化

主な事業の細目

商工業振興に関する事業

・商店街活性化事業（100円笑店街事業）の実施
・商店街振興組合及び地域商工業会等への支援
・スタンプラリーセール事業の実施
・世界無形文化遺産である小千谷縮を東京オリンピック・パラリンピック公式ユニフォーム採択に向けてのＰＲ活動の展開
・小千谷うまいもの祭の開催
・ビジネス交流会の開催
・地域力を活用した農商工連携の推進と地域産品の創出支援
・病院統合跡地活用についての提言活動

中小企業相談所に関する事業

・小規模企業者の経営改善に関する相談､支援の実施
・窓口、巡回相談等の経営支援活動の強化
・記帳機械化の普及促進
・各種講演会、研修会、講習会の開催

金融、税務対策に関する事業

・県・市等各種制度融資の斡旋・指導
・マル経融資制度の有効活用の促進
・電子申告・納税（ｅ－ＴＡＸ）の普及と利用促進

労働、教育、福祉に関する事業

・キャリア教育の推進
・雇用対策事業の推進
・簿記・珠算検定並びにネット検定の実施

調査研究、広報に関する事業

・会報「会議所だより」の充実と発行
・景気、雇用、経営動向等調査の実施
・おぢや商工名鑑Ｗｅｂ版の管理・提供
・市内事業所賃金実態調査の隔年実施

交通、観光に関する事業

・観光資源の発掘と交流人口の拡大

運営並びに会員関係事業

・部会活動の活性化を推進
・女性会活動の推進
・青年部活動の推進
・各種共済制度の普及と加入者還元事業の実施

運　営　方　針

わが国経済は「アベノミクス」の三本の矢により景気の明るさを取り戻し、デフレ経済から成長経済へと移行する重要な転換期を迎えております。この日本経済の再出発を強く牽引するためには第３の矢である「成長戦略」の追加策が不可欠であり、正念場を迎えています。

また、３年が経過した東日本大震災の復興と福島再生は、日本経済再生のために解決しなければならない課題であります。

４月には17年ぶりに消費税が引き上げられることもあり、小売業はじめ各業界が消費増税が消費に与える悪影響に懸念を抱いているところでありますが、消費増税が経営に影響無く適正な利益率が維持できるよう経営支援してまいる所存であります。

また、市内の景気についても、基幹産業である鉄工業は回復基調に戻りつつあるものの、各業界とも人口減少や消費増税後の消費の落込みなどによる警戒感が強く、先行きに不透明感が漂っています。このような転換期こそ、日本の中小企業の強みでもある「ものづくり」や「おもてなし力」を生かし、地域経済が新たな活力を発揮できるよう支援していかなければならないと考えております。

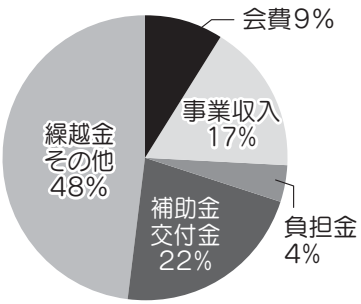
とにもかくにも、中小･小規模企業者は地域経済と雇用を支える地域経済の原動力であることから、商工会議所では、小規模事業者の企業訪問を中心に事業の経営改善・改革を進めるため現場主義に徹し経営支援に取組んでまいります。

当所事業活動では、本年も中期ビジョンに基づき企業支援に取組むと同時に、中小企業の命でもあるものづくり技術者の養成や若手後継者の育成をはじめ、「うまいもの祭」「100円笑店街」「スタンプラリー事業」「農商工連携事業」等、様々な分野・機関と連携し、さらにブラッシュアップをかけ、時代が求める事業を創出できるよう智恵を結集してまいりたいと考えております。

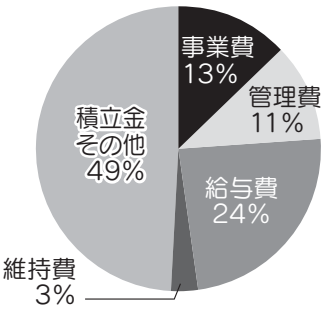
また、地域総合経済団体である商工会議所は地域経済を支える主体としての気概と自信を持ち、早い決断力と実行力で「信頼される商工会議所」を目指し、地域経済を先駆する商工会議所として事業活動を行っていく所存でありますので、関係各位におかれましては、さらなるご支援･ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成26年度　収　支　予　算

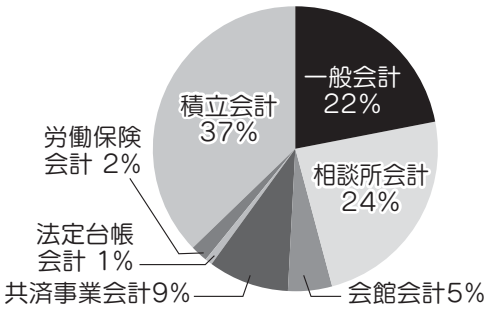
収入構成比率



支出構成比率



会計別予算額の構成比率



収入の部

単位(千円)

会費	9%	18,600
事業収入	17%	36,918
負担金収入	4%	7,877
補助金交付金	22%	46,374
繰越金その他	48%	102,598
合計	100%	212,367

支出の部

単位(千円)

事業費	13%	27,775
管理費	11%	23,956
給与費	24%	50,640
維持費	3%	5,570
積立金その他	49%	104,426
合計	100%	212,367

会計別予算

単位(千円)

一般会計	22%	47,018
相談所会計	24%	51,888
会館会計	5%	10,645
共済事業会計	9%	18,160
法定台帳会計	1%	1,215
労働保険会計	2%	3,820
積立会計	37%	79,621
合計	100%	212,367

県商工会議所連合会第2回定時総会

去る3月17日(月)に県商工会議所連合会第2回定時総会が開催され、本田会頭が出席しました。

会議では、平成26年度事業計画(案)、収支予算(案)を満場一致で承認した後、県の田村観光局長とJR東日本新潟支社中村営業部長から、「新潟デスティネーションキャンペーン」で、酒をコンセプトとした新しい列車「越乃Shu*Kura(コシノシュクラ)」が5月・6月の金・土・日に小千谷を通って運行されることの説明を受けました。その後各地の会頭から多くの意見、要望がJRに出されました。

国土交通省 北陸地方整備局幹部と県内商議所会頭が懇談

去る3月5日(水)に、新潟市において国土交通省北陸地方整備局幹部と県内16商工会議所会頭との懇談会が開催され、当所本田会頭が出席しました。

席上、整備局 野田局長より、25年度補正予算と26年度本予算を15ヶ月予算として、6月までに7割の執行を目標に取り組むと力強い表明があり、続く意見交換では、当所 本田会頭より信濃川河川整備の促進と、千谷地内茶郷川流末での浸水対応、排水ポンプ車の増設整備を要望いたしました。

1月～3月期 会員景況調査結果

◇調 査 対 象　小千谷商工会議所の会員企業の中から、卸売業・小売業・製造業・建設業・サービス業を対象に実施した。

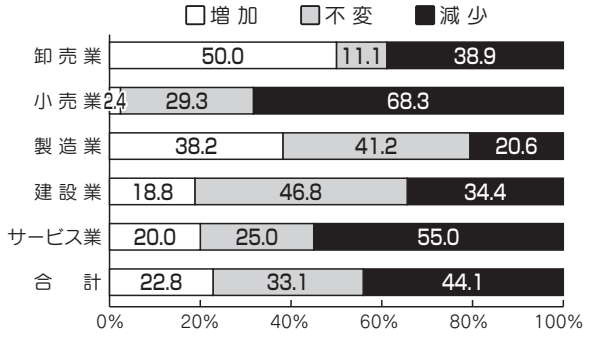
◇調査対象期間　平成26年１月～３月期の実績及び平成26年４月～６月期の見通しについて調査した。

◇回 収 状 況　147企業中、145企業より回答を得た（回答率　98.6%）

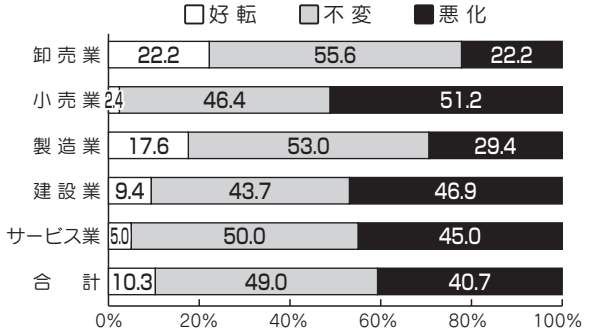
売上高の動向（前年同期比）

今期の売上高の動向は、全業種を平均した前年同期比で「増加」企業割合22.8%、「不変」企業割合33.1%、「減少」企業割合44.1%となった。

全業種平均ＤＩ値は▲21.3%となり、前回調査に比べてマイナス幅は7.1Ｐ縮小した。卸売業は５期振り、製造業は11期振りにＤＩ値がプラスに転じた。小売業はＤＩ値の大幅なマイナスが続いており、サービス業も減少傾向が強くなっている。

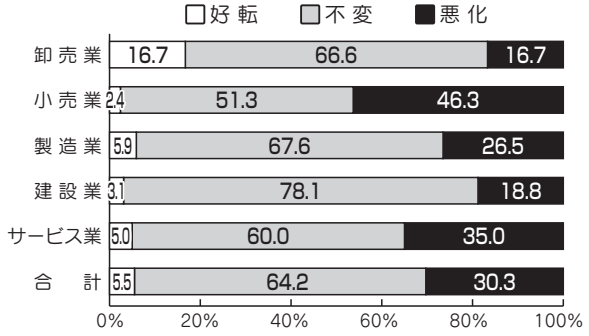


経常利益の見通し（前年同期比）



来期見通しは、全体的に「好転」回答割合が低下。卸売業はＤＩ値±0%となり、小売業、建設業、サービス業では収益悪化との見方が強くなっている。特に建設業は、今期状況よりもＤＩ値のマイナス幅が拡大している。

資金繰り見通し（前年同期比）



全業種平均DI値は▲24.8%となった。全業種で「不変」回答割合が高く、「好転」回答割合が極端に低くなっている。卸売業のDI値は±0%となったが、全体的にDI値のマイナス以上に資金繰りの悪化傾向が強くなっている。

安心づくりのおてつだい
にいがた県共済
新潟県火災共済協同組合
新潟県中小企業共済協同組合
関東自動車共済（協）新潟県支部

経営に安心をお約束する3つの共済事業

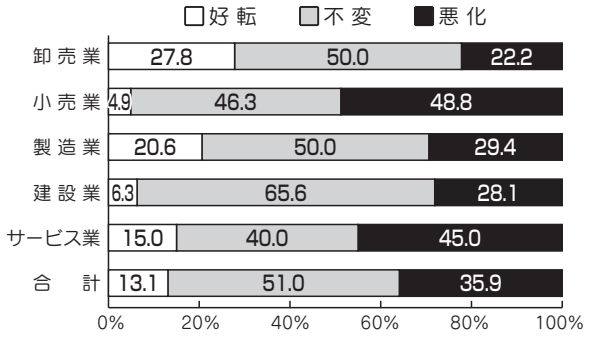
建物等の災害
万一の災害に備え
○火災、落雷、破裂・爆発、風雪災
○盗難、水漏れ、水害等の総合補償
○地震見舞金補償
○災害による休業時の粗利益補償

けが・病気
従業員の福利増進に備え
○病死、事故死、後遺障害、入院、通院、生前給付、ガン診断給付、祝金給付
○就労不能時の所得補償
○労災事故の法定外補償
○医療保障＋ガン保障

車の事故
もしもの事故に備え
○対人、対物賠償、搭乗者、車両総合補償、人身傷害補償
○人身事故の経済的負担をサポートする自動車事故費用共済
○自賠責共済

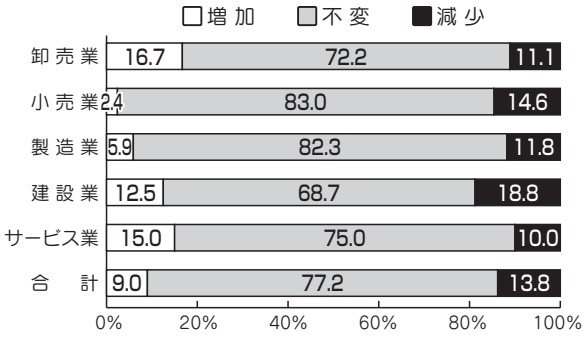
お問い合せ先　お申込みは小千谷商工会議所へ
〒951-8133 新潟市中央区川岸町1丁目47番地1（県中小企業会館内）
TEL.（025）267-1221㈹ FAX.（025）233-7255 http://kenkyosai.jp

業況の見通し（前年同期比）



来期見通しは、唯一卸売業のＤＩ値がプラスとなったが、今期状況と同様に小売業、サービス業は「悪化」回答割合が高く、ＤＩ値は大幅なマイナスとなり、来期も悪化傾向が続くとの見方が強くなっている。

従業員の変動（前年同期比）



季節的な要因もあるが、全体としては大きな動きは見られない。卸売業、サービス業ではＤＩ値が若干プラスとなった。建設業は「減少」回答割合が全業種中一番高いが、小売業の「増加」回答割合が低いため、ＤＩ値のマイナス幅では小売業の方が高くなっている。

業　種　別　概　況

業　種	業　種　概　況
卸　売　業	関東地方の大雪など今までにない天候により、売上減と利益減のダブルパンチとの声。一部地酒の値上げが相次ぎ、仮需要により実績はプラスになったが、実際のアルコール消費は、一部を除き低迷しているとの声が寄せられている。
小　売　業	４月からの消費税UPが心配との声。小雪のため灯油・軽油の販売が少なかったとの声。例年１～３月の冬季間は良くないが、今年は特に良くないとの声。お客様が商品の質よりも量、値段の安いものを買う傾向が強くなってきているとの声が寄せられている。
製　造　業	関東首都圏の仕事が昨年末より続いていて忙しい。しかし増税前の3月までか？との声。売上はアップしたが非効率な受注（短納期や注文の波）で利益につながらない。赤字覚悟の注文も多く、親会社に逆らえないのが実情との声が寄せられている。
建　設　業	消費税率アップの影響により、来店客数が多少増加との声。増税前の駆込み需要により、例年の１～３月期よりは好転。その後の反動による悪化が心配との声が複数あり。採算は好転することなく、受注額の低調も変らず利益確保が難しいとの声が複数寄せられている。
サービス業	１月の車販売は消費税増税の駆込みで、前年の倍以上と好調な売れ行きとなったが、その分３月の動きが鈍くなっているとの声が寄せられている。

DI値（景況判断指数）について

ＤＩ値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向の回答割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向の回答割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

ＤＩ値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

頑張る企業を応援します！

経営力強化保証制度

「経営力強化保証制度」は、経営改善に取り組む中小企業の皆様をサポートする制度です。

※このほかにも商工提携保証をはじめ、様々な保証制度がございます。詳しくは、お近くの営業店までお気軽にお問い合わせください。

中小企業とともに歩む身近なパートナー

新潟県信用保証協会

新潟　信用保証　検　索

長岡支店／長岡市坂之上町２丁目１番地１
（長岡商工会議所内）☎0258(35)5714

小千谷ブランディング・プロジェクト

新潟大学学生が「人情・暖かさのあるまち～小千谷」に基づいた新企画を提案

小千谷ブランディング・プロジェクトは、新潟大学大学院技術経営研究科長尾准教授と経済学部ゼミ学生、地元の団体（小千谷商工会議所、小千谷青年会議所、小千谷鉄工電子協同組合木曜会、小千谷市など）が協力して進めている、教育と連動した地域おこしの取り組みです。

先日、会議所大ホールで行われた年度報告会＆井戸端意見交換会では、縮メーカーと貸衣装店とのコラボによる若者に向けた新商品、小千谷を訪れる旅行者を対象としたカルタ携帯アプリによる地域スポット紹介システム、栽培体験・料理教室を媒介とした地元名産品の認知度向上を目指した企画などが提案され、学生手作りのバターナッツかぼちゃのスープも振る舞われました。3年目に入る今年は、賛同いただける企業等との提案企画の推進を目指します。

井戸端意見交換会で想いを語る学生

消費税改定に伴い、政府共通の相談窓口を設置。

センターでは次のような相談を受け付けます。

- 転嫁に関する問い合わせ
- 広告・宣伝に関する問い合わせ
- 消費税の総額表示に関する問い合わせ
- 便乗値上げに関する問い合わせ

御相談は専用ダイヤル
又はHP上の専用フォームを御利用下さい。

専用ダイヤル：0570-200-123

【受付時間】平日 9：00～17：00
（平成26年4月は土曜日も受付）

※通話料金はお住まいの地域に応じて以下の料金がかかります。
なお、実際にかかる金額は音声ガイダンスで御案内しております。
- 固定電話からは　8.5円～80円／3分間
- 携帯電話からは　90円／3分間
- 公衆電話からは　30円～220円／3分間

URL　（24時間受付）
http://www.tenkasoudan.go.jp

アベノミクス 各種補助金制度のご紹介

⑤平成25年度補正「小規模事業者持続化補助金」

小規模事業者が持続的な経営に向けた経営計画に基づき、商工会議所と一体となって販路開拓に取り組む費用の2／3を補助します。

公 募 締 切：平成26年５月27日㈫ ※17時必着
補　助　率：２／３
補助上限額：50万円、雇用を増加させる取り組みについては100万円

※詳細は下記日本商工会議所HPをご覧ください
http://www.jizokukahojokin.info

⑥平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業（新ものづくり補助金）」

各都道府県地域事務局では、中小企業・小規模事業者が取り組む、試作品・新サービス開発、設備投資等による新しいチャレンジを支援します。

公 募 締 切：平成26年５月14日㈬ ※当日消印有効
補　助　率：２／３
補助上限額：<成長分野型>　1,500万円
<一般型>　1,000万円
<小規模事業者型>　700万円

※詳細は下記HPをご覧ください
http://www.chuokai-niigata.or.jp/mono/index.html

⑦「建設企業経営革新支援事業」

建設企業等が新分野・新市場進出や新技術・新工法開発等の経営革新に向けて取り組む事業に対し、必要な経費へ助成を行い、県内における建設産業の活性化を図ります。

公募締切：平成26年５月16日㈮
助 成 率：助成対象経費の１／２以内
助成金額：50～200万円

※詳細は下記NICOのHPをご覧ください
http://www.nico.or.jp/

①平成25年度補正「地域商店街活性化事業（にぎわい補助金）」

商店街が行うイベント、商店街マップ・パンフレット等作成、研修・セミナー開催等を全額補助します。

公 募 締 切：平成26年8月15日㈮ ※17時必着
補　助　率：100％補助（消費税を除く）
補助上限額：400万円（複数の商店街で連携する場合は上限枠アップ）

※詳細は下記HPをご覧ください
http://www.syoutengai.or.jp/chiiki5/index.html

②平成25年度補正「商店街まちづくり事業」

商店街が行う街路灯（LED化等）、防犯カメラ、アーケード（撤去・改修）等を2／3補助します。

公 募 締 切：平成26年8月15日㈮ ※17時必着
補　助　率：２／３以内
補助上限額：１．５億円

※詳細は下記HPをご覧ください
http://www.syoutengai.or.jp/machi5/index.html

③平成26年度「地域商業自立促進事業」

商店街等が行うコミュニティカフェ、インキュベーション施設、アンテナショップ等を支援します。

公 募 締 切：平成26年８月15日㈮ ※17時必着
補　助　率：１／２、２／３
補助上限額：２億円、５億円

※詳細は下記HPをご覧ください
http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/shougyou/26fy_chiikishougyo_jiritsusokushin.html

④商店街アドバイザーを派遣します（無料）

補助金の活用（申請）も含めて、商店街の活性化をお手伝いするアドバイザーを無料で派遣します。

①～④の支援事業についてのお問い合わせ先
関東経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 商業振興室　電話：048-600-0317・0318

会員情報

■新規入会

小料理　馬木
引馬　真貴子　　平　成　　飲食店

中越住電装㈱
浅井　敏弘　　岩　沢　　製造業

魚　誠
小野　誠　　千谷川　　食品販売

■代表者変更

㈱東　医
（新）廣井　良宣　　（旧）廣井　忠司

㈲陽　光
（新）小林　重晴　　（旧）小林　正晴

3月31日付人事

■定年退職
相談所長　小　川　篤　男

■自己都合退職
総務課主事　竹　田　史　絵

お疲れ様でした

事務局日誌（3月）

1日　第38回おぢや風船一揆開会式・交歓パーティ
2日　第38回おぢや風船一揆表彰式
4日　正副会頭会議
5日　国土交通省北陸地方整備局幹部との懇談会
6日　金融審査会
10日　市制60周年記念式典
14日　女性会役員会
15日　3月常議員会
17日　小千谷ブランディングプロジェクト報告会
18日　金融審査会
19日　新潟県商工会議所連合会理事会・総会
　小規模企業振興委員会
　小千谷間税会セミナー
19日　小千谷商工会議所臨時議員総会
20日　小千谷・川口・魚沼就職ガイダンス
　市町村・商議所商業振興担当者会議
24日　日本商工会議所第119回会員総会
25日　金融審査会
　マル経審査会
26日　商業セミナー
　会館防災避難訓練
27日　小千谷経済懇談会
31日　県内中小企業相談所運営連絡会議
　青年部役員会
　退職者辞令交付

H25年度ミニ金融情報　<当所斡旋制度融資実績>

制度名		単位	A 26年3月	B 25年3月	前年同月比 A/B(%)	25年度累計
マル経資金	申込件数	件	1	1	100	7
	申込金額	千円	150	3,000	5	3,750
地方産業育成資金	申込件数	件	—	—	—	—
	申込金額	千円	—	—	—	—
中小企業経営安定資金	申込件数	件	2	3	67	14
	申込金額	千円	13,000	15,000	87	69,000
中小企業振興資金	申込件数	件	1	1	100	13
	申込金額	千円	10,900	1,800	606	62,050
中小企業振興高度化資金	申込件数	件	—	—	—	—
	申込金額	千円	—	—	—	—
中小企業特別借換資金	申込件数	件	—	2	—	3
	申込金額	千円	—	50,000	—	37,500

CCI－LOBO

商工会議所早期景気観測

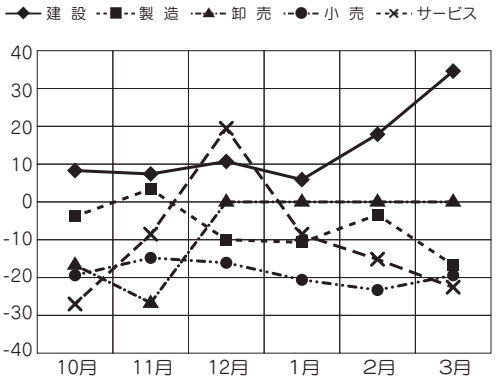
3月調査結果

業況DIは、駆け込み需要を背景に改善。先行きは不安感が一段と拡大

3月の全産業合計の業況DIは、▲4・4と、前月から＋3・3ポイントの改善。家電や日用品などを中心に消費税引き上げ前の駆け込み需要がピークを迎え、製造業・非製造業を問わず、受注・売上の増加による業況改善が進む。他方で、仕入・電力料金などのコスト増や、人材確保難を背景とする人件費の負担増に加え、駆け込み需要の反動減への不安が一段と広がっており、受注・売上の低迷を見込む地域の中小企業からは、経営悪化を懸念する声が多く聞かれる。先行きについては、先行き見通しDIが▲28・2（今月比▲23・8ポイント）と、大幅な悪化を見込む。一部で夏頃には業績が回復するとの声が聞かれるものの、仕入コストや電力料金、人件費などの負担増が続く中、駆け込み需要の反動減による受注低迷や消費者のマインド低下に加え、取引先からコストダウン要請が強まることが見込まれるなど、先行き不安が一段と広がっている。

ブロック別では、全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、小売業で改善、卸売業で横ばい、その他2業種で悪化した。業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、サービス業で改善、その他4業種で悪化する見込み。

産業別業況DI（前年同月比）の推移
北陸信越ブロック



DI=（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

平成26年度
小千谷商工会議所
各種事業スケジュール

4月13日(日)	おぢや桜まつり
14日(月)	女性会通常総会
23日(水)	青年部通常総会
5月5日(祝)	船岡公園まつり
6月14日(土)	会員ゴルフ大会
20日(金)	通常議員総会 16:00～
8月22日(金)～24日(日)	おぢやまつり
10月5日(日)	小千谷うまいものまつり
2月28日(土)～3月1日(日)	第39回おぢや風船一揆

平成26年度
おぢや桜祭り

期日：4月13日(日)
会場：千谷工業団地内

【イベント】

10:00　熱気球試乗体験(～15:30)
((一社)小千谷法人会地域貢献事業)
フアフア広場・的当てゲーム
10:10　よし太くんとジャンケン大会
10:30　列車戦隊トッキュウジャー
11:30　万歩ぅ～ダンス(～正午)
12:30　角突き牛ふれあい広場(～15:30)
13:00　列車戦隊トッキュウジャー
14:00　大ビンゴ大会

※天候等により、一部イベント内容の変更や、日本ベアリング㈱様体育館で開催する場合がございます。

5月5日(月)　船岡公園まつり開催

※詳細は4月25日号の「市報おぢや」をご覧下さい。

企業と学生のマッチング
就職ガイダンスを開催

小千谷・川口・魚沼雇用安定協議会（谷井靖夫会長）では、3月20日にサンプラザ大ホールにおいて、27年3月卒業予定の大学、短大、専門学校の学生を対象とする就職ガイダンスを開催しました。

これは地域の発展のため地元企業に優秀な学生から就職いただくマッチングの機会であり、採用側19社、学生34名が参加して行われました。参加学生はいずれも真剣に採用担当者の話を聞き、自分をアピールしていました。

商業セミナー開催

3月25日（火）に小売商業部会・卸売商業部会合同の商業セミナーが「アマゾン（ネット通販）に負けない店舗の持つ強みとは！！」と題して、㈱経営ドクターの島村先生をお迎えして開催されました。

㈱経営ドクター
島村先生

講演では、アマゾンの強みは1億点を超える豊富な品揃えに加え、とにかく安いことが最大の武器であるほか配送も無料であり、翌日には自宅に届けてくれることである。

これに対して店舗の強みとは、お店とお客の心の交流であり、お客様の気持ちの分かる顧客目線はもとより、お客様を儲けさせ満足させる「商人（あきんど）目線」での接客と、人間力であると、具体例を交えながらわかりやすく講演をいただきました。